



第77回 九州・沖縄生殖医学会

学術集会長

牛嶋 公生

久留米大学医学部 産科婦人科学教室 教授

● 第77回 九州・沖縄生殖医学会 ●

日 時：2021年4月11日(日)正午～17日(土)正午

形 式：**WEB 開催**

<https://jsrm-k77.secand.net/>

学術集会長 牛嶋 公生

久留米大学医学部 産科婦人科学教室 教授

〒830-0011 福岡県久留米市旭町67

TEL：0942-31-7573

FAX：0942-35-0238

学術集会長挨拶

第77回九州・沖縄生殖医学会の開催にあたって

久留米大学医学部 産科婦人科学教室 教授

牛嶋 公生



伝統ある九州・沖縄生殖医学会の第77回大会を久留米大学産婦人科が担当させていただきます。

新型コロナウイルス感染の社会生活に与える影響が依然収束していない昨今ですが、会員の皆様におかれましては九州・沖縄生殖医学会に対しまして格別のご高配を賜り感謝申し上げます。

昨年開催を延期致しました第77回九州・沖縄生殖医学会でございますが、本年もやはり現地会場開催は困難と判断し、WEBによる開催とすることに致しました。昨年多数の演題応募を頂いていることから、新たな演題募集はせず、昨年の演題名でご発表いただく予定としており、2021年4月11日(日)正午～4月17日(土)正午の期間視聴いただける予定としております。

生殖補助医療は近年目まぐるしく進歩発展をしてきていますが、同時に解決すべき新たな倫理的問題なども起こっています。本学会は九州沖縄地区における医師、胚培養士、看護師、助産師など生殖医療に携わる皆さんの研究成果の発表の場です。是非活発な議論を通して、情報交換と交流を深めて頂きたいと思っております。

特別講演として、昨年予定していました通り、慶応大学の木須伊織先生をお迎えして、新たな生殖補助医療として注目されている子宮移植についてご講演をいただく予定となっております。世界と日本の現状について最新の知見が得られると思っております。

会の開催にあたりましては、大分大学医学部産婦人科、檜原久司教授、河野康志先生、並びに富士製薬工業(株)のご助力に感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大が1日も早く収束することを願っております。皆様におかれましては、ご自愛下さり、益々のご健勝を祈念申し上げます。

参加される方へ

本年会は Web 開催となります。視聴には本会ホームページから参加登録が必要です。

■ 事前参加登録期間

2021年2月24日(水)～4月16日(金)

※初期研修医と大学院生および学生は無料です。資格が確認できる証明書画像を付けて4月8日(木)正午までに仮参加登録を済ませてください

※研修単位を申請される方は4月8日(木)正午まで参加登録を完了してください。それ以降は申請ができません。

- 仮参加登録が完了しますと「仮参加登録メール」が送信されます。メールに記載してあるカード決済の URL をクリックしてお支払いを完了させてください。無料参加の方(初期研修医と大学院生および学生)はカード決済は不要です。
- お支払い方法はクレジットカード決済のみとなります(VISA、マスターカード、アメリカンエクスプレのみ)。
- クレジットカード決済が完了しますと領収書が参加登録者への自動返信メールに添付されます。
※理由の如何にかかわらず、参加登録後の返金には応じられませんので、ご了承ください。
- 参加登録を完了された方には、学会が近づきましたら Web 視聴用の ID、およびパスワードをメールでお知らせします。
※学会会期中に参加登録をされた方には、カード決済完了メールにてご連絡します。

■ 参加費

参加区分	参加登録費
会 員	4,000 円
非 会 員	4,000 円
初期研修医、院生、学生	無 料

※初期研修医の方は在籍証明書、大学院生および学生は学生証の画像を参加登録時にアップロードしてください。事務局にて確認後に正式な参加登録完了となります。

■ 抄録誌の販売について

本会の抄録誌は九州・沖縄生殖医学会会員の方には予め郵送いたします。非会員の方などで購入を希望される方には販売いたします。

抄録誌 1,000円(郵送料を含みます)

単位取得について

今回の Web 開催では、e 医学会カードの使用はございません。単位の取得には本会ホームページから事前申請が必要です。

申請には会員番号が必要です。単位付与は事前参加登録を完了され、Web 学会会場で視聴された方に限ります。

※申請締切り：4月8日(木)正午まで

1. 日本産科婦人科学会会員の方々へ

以下の単位が取得できます。

- ① 日本産科婦人科学会(専門医)学会単位(10点)
- ② 日本専門医機構 学術集会参加単位(3単位)
- ③ 専門医機構 産婦人科領域講習の単位(1単位)

①と②は期間中に、WEB 配信を少なくとも1演題視聴した方(動画の指定はございません)は単位が付与されます。

③産婦人科領域講習に関しましては、以下のセッション(動画)を最初から最後まで視聴された方にのみ単位を付与いたします。

※動画終了時にレポート提出が必要です。

教育講演「新しい不妊治療を考える ～子宮移植の現状と展望～」

木須 伊織(慶應義塾大学 医学部 産婦人科学教室 特任助教)

※事務局で単位取得に必要となる視聴ログを正確に確認するため、視聴サイトの閲覧終了時は、必ず「ログアウト」よりご退出をお願いいたします。ウィンドウの「×」ボタンで画面を閉じると、視聴ログ取得の不具合の原因となりますので、ご注意ください。

2. 日本産婦人科医会会員の方々へ

会期終了後、ご参加(視聴)が確認できた方には研修参加証(シール)を送付いたします。

3. 日本生殖医学会会員の方々へ

生殖医療専門医でご参加(視聴)が確認できた方には生殖医療専門医更新ポイント(10点)が付与されます。

※日本生殖医学会の会員番号と専門医番号が必要です。

第77回九州・沖縄生殖医学会 プログラム

日 時：2021年4月11日(日)正午～17日(土)正午

形 式：WEB 開催

<https://jsrm-k77.secand.net/>

教育講演

「新しい不妊治療を考える ～子宮移植の現状と展望～」

木須 伊織 慶應義塾大学 医学部 産婦人科学教室 特任助教

共催：富士製薬工業株式会社

第1群 [卵巣刺激・採卵]

O-01 当院における AMH 値および卵巣刺激法による採卵数の検討

○山下 由貴¹⁾、河野 康志¹⁾、原田 枝美¹⁾、平川 東望子²⁾、溝口 千春¹⁾、
梶原 由衣³⁾、檜原 久司¹⁾

1)大分大学 医学部 産科婦人科、2)ひらかわ産婦人科医院、

3)独立行政法人 国立病院機構 大分医療センター

O-02 採卵時の卵胞洗浄の必要性の検討 ―前向き無作為化比較試験

○江寄 彩乃、徳永 友里恵、上田 真理奈、池田 早希、中村 千夏、
木下 和雄、小山 伸夫

医療法人聖命愛会 ART 女性クリニック

O-03 PCOS (PCO) に対するアロマターゼ阻害薬 (レトロゾール) を用いた 治療法の臨床成績の報告

○田中 温¹⁾、柳原 康穂¹⁾²⁾、山口 貴史¹⁾²⁾、永吉 基¹⁾、田中 威づみ¹⁾

1)セントマザー産婦人科医院、2)順天堂大学 医学部 産婦人科学講座

O-04 多嚢胞性卵巣症候群の糖代謝異常の有無における臨床成績の検討

○永吉 基¹⁾、柳原 康穂¹⁾²⁾、山口 貴史¹⁾²⁾、田中 威づみ¹⁾、田中 温¹⁾

1)セントマザー産婦人科医院、2)順天堂大学 医学部 産婦人科学講座

第2群 [媒精・ICSI]

O-05 Piezo-ICSI と Conventional-ICSI の選択による臨床成績への影響の検討

○古川 晋也、秋吉 俊明、南 志穂、松尾 完、馬場 朱里、上田 康子、
松尾 恵子、佐藤 春菜、長野 純大、山口 敦巳、岡本 純英
医療法人 ART 岡本ウーマンズクリニック

O-06 先体反応誘発法の検討

○竹本 洋一¹⁾、柳原 康穂¹⁾²⁾、山口 貴史¹⁾²⁾、永吉 基¹⁾、田中 威づみ¹⁾、
田中 温¹⁾、渡邊 誠二³⁾、島田 昌之⁴⁾
1)セントマザー産婦人科医院、2)順天堂大学 医学部 産婦人科学講座、
3)弘前大学大学院 医学研究科 生体構造医科学講座、
4)広島大学大学院 生物圏科学研究科 陸域動物生産学講座

O-07 ZyMot™ スパームセパレータを用いた精液処理の有効性

○水本 茂利、長尾 洋三、渡辺 瞳、田中 啓子、戸野本 知子、仲宗根 巧真、
奥田 紗矢香、後藤 美緒、一木 巴恵、大坪 可奈子、伊賀 淑穂、
小柳 沙織、蔵本 武志
蔵本ウイメンズクリニック

O-08 採精直後に抗酸化剤添加培養液を加えることによる胚発生および妊娠成績への影響

○岩田 叶絵、山本 新吾、松尾 則子、山本 奈理、井上 善仁
医療法人 井上善レディースクリニック

第3群 [培養液]

O-09 抗酸化物質添加培養液がヒト ART 臨床成績に与える効果の検討

○江頭 昭義、中島 章、上原 美奈、鳩間 咲子、東 舞、江頭 由佳子、
新里 聡子、黒島 優香、佐久本 哲郎、徳永 義光
医療法人 杏月会 空の森クリニック

O-10 当院における抗酸化剤添加シングルステップメディウムを用いた培養成績の比較検討

○江島 和秀¹⁾、尾畑 俊貴¹⁾、占部 奈央¹⁾、米本 昌平¹⁾、赤星 孝子¹⁾、竹本 洋一¹⁾、田中 威づみ¹⁾、柳原 康穂¹⁾²⁾、山口 貴史¹⁾²⁾、永吉 基¹⁾、田中 温¹⁾、渡邊 誠二³⁾、島田 昌之⁴⁾

1) セントマザー産婦人科医院、2) 順天堂大学 医学部 産婦人科学講座、

3) 弘前大学大学院 医学研究科 生体構造医科学講座、

4) 広島大学大学院 生物圏科学研究科 陸域動物生産学講座

O-11 ミネラルオイルの種類が EmbryoScope+ における長期継続培養後の浸透圧上昇に及ぼす影響

○遊木 靖人、隈本 正太郎、佐多 良章、西川 由華里、岩瀬 あい、森下 真依子、永光 理紗、大城 美喜、津野 晃寿、岩政 仁
ソフィアレディースクリニック水道町

O-12 初回胚移植における2種の培養液の比較

○篠原 真理子、末永 めぐみ、上拾石 富士代、山口 弓穂、岩下 夢美、伊藤 正信、松田 和洋
松田ウイメンズクリニック

第4群 [胚評価]

O-13 当院における新たな胚評価法導入へ向けての検討

○岩瀬 あい、森下 真依子、遊木 靖人、佐多 良章、西川 由華里、隈本 正太郎、平井 佐和子、津野 晃寿、岡村 佳則、岩政 仁
ソフィアレディースクリニック水道町

O-14 第一分割後に起こる割球形態の変動(Blastomere movement)に着目したタイムラプス解析

○和泉 杏里紗、北上 茂樹、植村 智子、濱口 絵実、高山 修、古賀 剛、古賀 文敏
古賀文敏ウイメンズクリニック

O-15 滑面小胞体凝集の大きさが胚発生に与える影響

○米本 昌平¹⁾、江島 和秀¹⁾、赤星 孝子¹⁾、竹本 洋一¹⁾、柳原 康穂¹⁾²⁾、山口 貴史¹⁾²⁾、永吉 基¹⁾、田中 威づみ¹⁾、田中 温¹⁾、渡邊 誠二³⁾、島田 昌之⁴⁾

1) セントマザー産婦人科医院、2) 順天堂大学 医学部 産婦人科学講座、

3) 弘前大学大学院 医学研究科 生体構造医科学講座、

4) 広島大学大学院 生物圏科学研究科 陸域動物生産学講座

O-16 ICMとTEの形態評価における着床率について

- 小林 あやね、大津 英子、熊迫 陽子、甲斐 由布子、伊東 裕子、
宇津宮 隆史
セント・ルカ産婦人科

O-17 単一凍結融解胚盤胞移植における胚の形態別妊娠率の検討

- 大川 彦宏¹⁾²⁾、有村 賢一郎¹⁾、松木 裕枝¹⁾、三浦 典子¹⁾、吉武 歩¹⁾、
大川 欣栄¹⁾、河野 康志²⁾、楢原 久司²⁾
1)大川産婦人科病院 高砂分院、2)大分大学 医学部 産婦人科学講座

O-18 胚盤胞の凍結前の形態と直径が融解胚移植後の妊娠率に及ぼす影響

- 伊賀 淑穂、長尾 洋三、水本 茂利、渡辺 瞳、田中 啓子、吉岡 尚美、
大塚 未砂子、蔵本 武志
蔵本ウイメンズクリニック

第5群 [胚移植]

O-19 レルゴリクスを併用したホルモン補充周期融解胚移植の臨床的有用性の検討

- 中島 章¹⁾、徳永 義光¹⁾、寺田 陽子¹⁾、江頭 昭義¹⁾、神山 茂¹⁾、
高山 尚子¹⁾、大橋 容子¹⁾³⁾、慎 武¹⁾²⁾、佐久本 哲郎¹⁾、東 政弘¹⁾
1)医療法人 杏月会 空の森クリニック、2)おおやま泌尿器科、
3)かみや母と子のクリニック

O-20 多血小板血漿 (PRP) の不妊治療への応用

- 田口 苑実、藤田 あずさ、西山 和加子、山口 麻美、藤澤 祐樹、
野見山 真理、有馬 薫、佐護 中、大淵 紫、徳永 真梨子、内山 陽子、
古賀 利子、隈本 巧、小島 加代子
医療法人社団高邦会 高木病院

O-21 当院 ART 症例における子宮内膜マイクロバイオーム検査 (EMMA) と感染性慢性子宮内膜炎検査 (ALICE) の有用性の検討

- 小川 尚子、吉岡 尚美、加藤 裕之、深川 真弓、古川 雄一、大塚 未砂子、
水本 茂利、久保島 美佳、村上 貴美子、蔵本 武志
蔵本ウイメンズクリニック

O-22 胚移植時に得られた子宮内膜細胞を用いた着床関連遺伝子発現の検討

○後藤 香里¹⁾²⁾、河野 康志²⁾、甲斐 由布子¹⁾、伊東 裕子¹⁾、榎原 久司²⁾、宇津宮 隆史¹⁾

1)セント・ルカ産婦人科、2)大分大学 医学部 産科婦人科

O-23 同一症例における新鮮胚移植周期での妊娠および非妊娠周期の比較

○酒瀬川 琢¹⁾、沖 利通¹⁾²⁾³⁾⁴⁾、沖 知恵¹⁾、内田 那津子¹⁾、中條 有紀子¹⁾、小林 裕明¹⁾

1)鹿児島大学 医学部 産婦人科学教室、

2)鹿児島大学 医学部 保健学科 生育看護学講座、

3)鹿児島大学病院 漢方診療センター、4)鹿児島大学病院 下垂体疾患センター

第6群 [着床前検査]

O-24 当院における PGT-SR の NGS 解析結果の検討

○渡邊 みあ¹⁾、桑鶴 ゆかり¹⁾、黒木 裕子¹⁾、徳留 茉里¹⁾、田平 達則¹⁾、岩川 富貴子¹⁾、竹内 美穂¹⁾、加藤 武馬²⁾、倉橋 浩樹²⁾、竹内 一浩¹⁾

1)竹内レディースクリニック附設高度生殖医療センター、

2)藤田医科大学総合医科学研究所

O-25 当院における PGT-A の有用性の検討

○伊東 裕子、宇津宮 隆史、城戸 京子、神田 晶子、大津 英子、甲斐 由布子、古川 雄一

セント・ルカ産婦人科

第7群 [子宮・卵管]

O-26 卵管鏡下卵管形成術の有用性の検討

○甲斐 由布子、越光 直子、古川 雄一、伊東 裕子、後藤 裕子、宇津宮 隆史

セント・ルカ産婦人科

O-27 当科における子宮腺筋症合併不妊症に対する子宮温存(減量)術の検討

○西 真輝、佐藤 千明、福島 愛、河野 通晴、平木 宏一、藤下 晃

済生会長崎病院

O-28 ART からみた子宮腺筋症の治療法検討と将来の展望

○山口 貴史¹⁾、柳原 康穂¹⁾²⁾、永吉 基¹⁾、田中 威づみ¹⁾、田中 温¹⁾

1) セントマザー産婦人科医院、2) 順天堂大学 医学部 産婦人科学講座

O-29 Superb Micro-vascular Imaging を用いた月経周期における子宮内膜血流の変化

○三田尾 拓、吉里 俊幸、藤田 智之、深川 真弓、三嶋 すみれ、牛嶋 公生

久留米大学 医学部 産科婦人科学教室

第8群 [男性不妊]

O-30 Microdissection TESE で精子が回収できず、精索静脈瘤手術により射出精子の出現をみた cryptozoospermia の2例

○庄 武彦、成吉 昌一、辻 祐治

天神つじクリニック

O-31 非閉塞性無精子症の超音波診断：精細管径の不均一性からの精子回収予測と術中所見、精子回収率の検討

○成吉 昌一、庄 武彦、辻 祐治

天神つじクリニック

第9群 [妊孕性温存]

O-32 がん・生殖医療における男性がん患者の妊孕性温存療法不施行例について

○宜保 敬也、銘荊 桂子、又吉 由佳里、長田 千夏、仲村 理恵、大石 杉子、宮城 真帆、赤嶺 こずえ、青木 陽一

琉球大学病院 産科婦人科

O-33 当院におけるがん患者に対する妊孕性温存療法およびがん治療後患者の生殖補助医療の現況

○有馬 薫、小島 加代子、徳永 真梨子、大淵 紫、尾崎 麻理、佐護 中、野見山 真理

医療法人社団高邦会 高木病院

O-34 当院における医学的適応による卵子凍結の現状

○岩川 富貴子、田平 達則、竹内 美穂、竹内 一浩
竹内レディースクリニック附設高度生殖医療センター

O-35 当院における悪性腫瘍患者の妊孕性温存の現状

○權藤 咲紀、泊 博幸、齋藤 研祐、坂村 遥香、北岡 杏菜、金原 恵利子、
本庄 考、詠田 由美
医療法人アイブイエフ詠田クリニック

O-36 妊孕性温存情報提供に必要な年齢別至適採卵数に関する検討

○坂村 遥香、泊 博幸、權藤 咲紀、齋藤 研祐、國武 克子、内村 慶子、
橋高 真央、本庄 考、詠田 由美
医療法人アイブイエフ詠田クリニック

O-37 当院における子宮体癌妊孕性温存治療の成績

○藤田 智之、三田尾 拓、深川 真弓、三嶋 すみれ、津田 尚武、吉里 俊幸、
牛嶋 公生
久留米大学 医学部 産科婦人科学教室

O-38 マウスを用いた卵巢凍結融解法についての検討

○尾畑 俊貴¹⁾、占部 奈央¹⁾、米本 昌平¹⁾、赤星 孝子¹⁾、竹本 洋一¹⁾、
柳原 康穂¹⁾²⁾、山口 貴史¹⁾²⁾、永吉 基¹⁾、田中 威づみ¹⁾、田中 温¹⁾、
渡邊 誠二³⁾、島田 昌之⁴⁾

1)セントマザー産婦人科医院、2)順天堂大学 医学部 産婦人科学講座、

3)弘前大学大学院 医学研究科 生体構造医科学講座、

4)広島大学大学院 生物圏科学研究科 陸域動物生産学講座

第10群 [症例報告]

O-39 卵巢原発平滑筋腫の一例

○大石 杉子、銘苺 桂子、宜保 敬也、長田 千夏、仲村 理恵、宮城 真帆、
赤嶺 こずえ、青木 陽一
琉球大学付属病院 産婦人科

O-40 ARTにより妊娠に至った総排泄腔遺残症術後患者の1例

○磯辺 明子、蔵本 和孝、井上 令子、河村 圭子、宮崎 順秀、江頭 活子、
水本 真夕、遠藤 祐子、加藤 聖子
九州大学病院

O-41 降圧剤が奏効したと考えられた不妊症例

○沖 利通¹⁾²⁾、内田 那津子²⁾、酒瀬川 啄²⁾、中條 有紀子²⁾、沖 知恵²⁾、
小林 裕明²⁾

1) 鹿児島大学 医学部 保健学科成育看護学講座、2) 鹿児島大学病院 女性診療センター

O-42 胎盤ポリープに周期的エストロゲン・プロゲステロン配合薬投与が有効だった不妊症例

○内田 那津子¹⁾、沖 利通²⁾、樋渡 小百合³⁾、榎園 祐治³⁾、酒瀬川 啄¹⁾、
折田 有史¹⁾、中條 有紀子¹⁾、沖 知恵¹⁾、小林 裕明¹⁾

1) 鹿児島大学 医学部 生殖病態生理学分野、

2) 鹿児島大学病院 保健学科成育看護学講座、3) レディースクリニックあいいく

O-43 生体肝移植後に体外受精－胚移植を行い、生児を得た1例

○梶原 由衣、河野 康志、溝口 千春、佐藤 初美、楢原 久司

大分大学 医学部 産科婦人科

第11群 [支援・看護]

O-44 沖縄県内の生殖医療施設における里親制度・特別養子縁組に関する取り組みについて

○長田 千夏、銘苅 桂子、宜保 敬也、仲村 理恵、大石 杉子、宮城 真帆、
赤嶺 こずえ、青木 陽一

琉球大学医学部付属病院

O-45 特別養子縁組までの意思決定を見守って

○外島 あゆみ、日高 清美、今井 たかね、山崎 真子、谷口 美樹、
春山 智恵美、久山 聖梨、伊藤 正信、松田 和洋

松田ウイメンズクリニック

O-46 仕事と不妊治療の両立支援外来を開設して

○今村 奈摘、村上 貴美子、久保島 美佳、徳永 美樹、園田 敦子、
高尾 ひろみ、江隈 直子、安藤 優織江、蔵本 武志

蔵本ウイメンズクリニック

O-47 早発卵巣不全(POI)患者と更年期症状

○川村 智恵、戸高 里美、後藤 裕子、甲斐 由布子、伊東 裕子、
宇津宮 隆史

セント・ルカ産婦人科

O-48 不妊患者のサプリメント摂取に関する意識調査と当院における現状

○坂本 順子、後藤 裕子、甲斐 由布子、伊東 裕子、宇津宮 隆史
セント・ルカ産婦人科

O-49 着床前胚異数性検査 PGT-A に対する意識調査

○手島 しおり、小池 恵、甲斐 由布子、伊東 裕子、宇津宮 隆史
セント・ルカ産婦人科

一 般 演 題

当院における AMH 値および卵巣刺激法による採卵数の検討

○山下 由貴¹⁾、河野 康志¹⁾、原田 枝美¹⁾、平川 東望子²⁾、溝口 千春¹⁾、梶原 由衣³⁾、楢原 久司¹⁾

1)大分大学 医学部 産科婦人科

2)ひらかわ産婦人科医院

3)独立行政法人 国立病院機構 大分医療センター

【目的】

AMH は卵巣予備能の評価として有用と考えられており、AMH 値測定を指標とした卵巣刺激法の選択の可能性が報告されている。今回 AMH 値からみた卵巣刺激法における採卵数について検討を行った。

【対象】

当院で2016年2月から2019年7月までに採卵を行った患者で AMH 値を測定している217周期を対象とした。AMH 値(ng/mL)は2.0未満(a群)、2.0以上4.0未満(b群)、4.0以上6.0未満(c群)、6.0以上(d群)の4群に分け、卵巣刺激法は Long 法(L法)、Short 法(S法)、Antagonist 法(An法)、低刺激法〔自然周期含む(M法)〕に分け、検討を行った。

【結果】

AMH 値の割合は、a群66.4%、b群20.3%、c群5.5%、d群7.8%であった。AMH 他別における平均年齢、平均採卵数は a群 39.0 ± 4.2 歳、 2.4 ± 1.9 個、b群 35.3 ± 3.8 歳、 7.2 ± 3.8 個、c群 33.1 ± 3.6 歳、 6.7 ± 3.4 個、d群 35.3 ± 3.0 歳、 10.4 ± 6.6 個であった。a群は他群と比べ、平均年齢が有意に高く、採卵数も有意に少なかった。特に a群の中で刺激法別に比較すると、平均年齢、平均採卵数は L法 35.3 ± 5.2 歳、 4.9 ± 1.5 個、S法 38.6 ± 4.3 歳、 2.6 ± 1.8 個、An法 39.0 ± 3.2 歳、 2.6 ± 1.9 個、M法 41.4 ± 2.8 歳、 1.1 ± 0.8 個であった。M法は有意に平均年齢が高く、採卵数は有意に少なかった。

【結論】

AMH 値別では a群、刺激法別では M法の平均年齢が一番高く、採卵数が少ない傾向であったが、AMH 値が低い場合であっても、年齢が低ければ L法においても採卵数を確保できる可能性が示唆された。

第77回九州・沖縄生殖医学会

学術集会長：牛嶋 公生

発行者：久留米大学医学部 産科婦人科学教室
〒830-0011 福岡県久留米市旭町67
TEL：0942-31-7573 FAX：0942-35-0238

事務局：大分大学医学部産科婦人科学教室
〒879-5593 大分県由布市狭間町医大ヶ丘1-1
TEL：097-586-5922 FAX：097-586-6687

出版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025

